



令和四壬寅歳諏訪大社式年造営御柱大祭

富士見町
東三地区

おんぼしら通信

第九号

本郷・落合・境地区 大総代会・広報記録係 令和4年6月1日発行

「安全に、仲よく、楽しく、美しく」を達成

魅せた！東三地区の心意気



係長会長から御礼のご挨拶

一致協力、これぞ里曳き

係長会長（綱係長）
久保直章（瀬澤）

全係を代表致しまして、まず大総代会での御英断により全ての係が報われた事、心から感謝申し上げます。そして曳子の皆様が参加出来たという事が何よりでした。

晴天の元、記念撮影、喇叭隊の演奏、祭典係のイベント、皆様の笑顔。

『これぞ里曳き！』
大変素晴らしい時間を過ごさせて頂きました。

曳行では、係員、曳子の皆様の人数が少なく、もしかしたら非常に



前宮四之御柱を無事に奉納。重責を果たし、ようやく安堵の笑みを浮かべる係長のみなさん

に困難な曳行になるのではないかと心配しましたが、動き出しからの力強い曳行。そのまま一気に建立地点まで着いてしまいました。一致協力、まさに皆様の気持ちの一つになった御柱だったと思います。

曳子の皆様を始め、各区役員、大総代、大中の皆様、そして各係の皆様と、ご家族、すべての皆様に感謝を申し上げます。大変素晴らしい御柱にして下さりありがとうございました！

今回残念ながら参加出来なかった皆様を含め、次回もご協力、よろしくお願致します。

心ひとつに!! 熱き思いと絆

東三地区では、11の係が一丸となって取り組んだ今回の御柱祭。何といっても縁の下の力持ちは、各係の副係長のみなさん。陰に日向に準備から本番すべての段取りに奔走し、前宮四之御柱を無事に奉納できたのも副係長のみなさんの出し惜しみない力があつたればこそ。

そこで、各係の副係長のみなさん（各係代表1名）から、御柱祭を振り返っての談話をいただきました。

心をひとつに

木遣り副係長
小林幸浩（高森）

「御小屋の大木、里に下りて、神となる」

今回は変則的な開催の中、里曳きでは人力により無事に社に納めることが出来ました。

私は木遣り係として参加しました。御柱屋敷から木遣り・喇叭で柱が動いた時には今迄にない感慨深さを感じました。

様々な制限下の中でしたが、素晴らしい御柱祭だったと思います。今後も次世代へ木遣りの継承しながら活動したいと思っています。

最後に係長を初め木遣り係の皆様、前宮四に携わった全ての皆様に感謝いたします。

御柱への関わり方

喇叭副係長
植松正憲（富士見台）

始まりは、とある方の車に載っていたラップでした。車に乗る度に「アレある？」と言っては吹いて、音が出るようになると更に楽しくなり、ラップと本格的に関わることに。

ただ上手くなりたくてひたすら練習し続け、御柱も喇叭係として関わりたいたい今に至ります。

喇叭係は老若男女問わず関わることで、御柱祭の盛り上げ隊的存在。技術の伝承と共に「参加したい！」と思わせるような、そんな係であり続けたいです。

たいと思います。



若者を迎えて

斧方副係長
平出征弘（田端）

コロナ禍で、色々と制限があつた御柱祭でした。御柱に携わる、一人一人が感染対策をしながら、準備を進めて東三地区が一丸となった、久しぶりの上社前宮の曳行に感動しました。

斧方係りに新たに8名の若者が加わり、戸惑う事もあつたと思うけど、先輩と協力して活動が出来て、良かったと思います。次回にも、繋げて行きたいです。

東三地区の氏子のみなさん、有難うございました。本当にお疲れ様でした。

圧巻の境内曳き付け

綱副係長

五味隆二（瀬沢新田）

「セーの、よいさ」「セーの、よいさ」本祭が終わって2週間が過ぎた今でも、あの掛声が昨日の事のように耳に残っています。

徒歩でさっさと考える上り坂、本当に人力だけで曳き上げられるのだろうか…

そんな不安は良い意味で裏切られ、鳥居潜りから始まり、十間廊の急坂、一度も停まる事なく、前へ前へ。

人の力が集まり、息を合わせる事でこんなにも大きな力に変わる。御柱が人と人を繋ぎ、地域を一つにしているのだと身を持って感じる事が出来ました。

本当にありがとうございます。

御柱祭を終えて

前針孔梶子副係長

高木伸哉（瀬澤）

今回は前針孔梶子副係長として御柱に参加させて頂きました。

コロナ禍での準備や段取りは正解が見えず、先輩方や仲間の知恵やアドバイスに助けられ、こままですべてこられたと思います。

係員の先頭に立ち、まとめる重要な役割を果たせたのも、支えてくださった全ての方々のおかげです。

あつという間に終わってしまい

ましたが、7年後に向けて東三地区の絆をますます深め、息の合った御柱が出来ればと思っております。

次回は全員でヨイサ！

全ての方に感謝

後針孔梶子副係長

五味敦雄（乙事）

コロナ禍での自粛や我慢、短期間の準備に少ない練習にもかかわらず東三地区一丸となり、まさにスローガン通りの素晴らしい曳行建て御柱となりました。関わった全ての方に感謝しています。

また、建て御柱の乗り手にも選んで下さり大変思い出深い御柱祭となりました。

前宮四の御柱から見えた皆様一人一人の笑顔と景色は、私の一生の宝物です。

本当にありがとうございます。

次へつなげる

小梶子副係長

武田賢治（富里）

東三地区で担当した前宮四の御柱を無事に前宮に奉納することが出来ました。

前例のない形での御柱祭になりましたが、里曳きではその雰囲気を感じることが出来ました。

5回目の御柱になります。初小梶子係で副係長の役も頂き、係としてしっかり仕事が出来るよ

うに気を配りながら良い経験が出来ました。良い仲間も増えました。御柱は各係が技術を発揮して協力して大きな柱が動く、技術の祭りだと思えます。そういうところにも魅力を感じ、人から人へ技術を伝承して次の御柱も楽しみたいと思えます。

念願の追掛

追掛綱副係長

小林広和（上葛木）

東三地区の皆さんの協力のもと、建て御柱まで見事に無事に終了でき、本当にありがとうございます。

私、実は前回の御柱で追掛綱係の皆さんの楽しそうな姿を見て、次回は必ず「追掛ベスト」を着て「追掛綱係」を担当すると心に決めていました。幸い願いが叶い、担当御頭郷、係長、副係長の面々、

係員の皆さんという明るい良い仲間にも恵まれ、最高に楽しい前宮四の曳行になりました。

7年後、皆さんと元気で会うことを楽しみにしています。

7年後はマスク無しで

祭典副係長

曾我満男（信濃境）

里曳きの二日間、東三地区のスローガン通り人が人も無く、御柱を前宮に納める事が出来ました。

里曳きの曳行が決まり、短期間での計画、準備、作成を多くの方々に協力して頂き、曳行中の踊り、大鼓のイベント、最後の建て御柱を係全員で盛り上げる事が出来たと思えます。本当にありがとうございます。

7年後、マスク無しで従来通りの御柱祭が出来る事を切に願います。

御柱祭の警備を終えて

警備副係長

水野宏臣（第11今回長）

私は、前回、前々回と警備を経験しましたが、今回はコロナ禍と言う事で、警備がかなり異なりました。その事から、初めての事はばかりで、かなり戸惑いました。しかし、警備係長を中心に、警備係一致団結して、安全を確保し、警備でのトラブルも柔軟に対応ができました。その甲斐があり、曳行での、大きな事故、またけが人を出すこともなく無事に御柱祭を終える事ができました。

皆様のご協力本当にありがとうございます。

個性豊かな記録係

広報記録副係長

砺波周平（信濃境）

御柱祭に参加いただいたみなさま、今回も素晴らしい勇姿を見せていただきましたありがとうございます！

時節柄、動画配信やおんぼしら通信、Webサイトの内容向上など、係の役割もより責任が増し、戸惑いもありましたが、個性豊かな係のみなで補い合いながら乗り越えてくれたのが何より楽しく、嬉しかったです。素晴らしい仲間との7年後がまた楽しみです。ヨイテーコシヨッ!!



前宮四の曳行を盛り上げる



踊りで笑顔と元気をくれた「高森こまち〜ず」のみなさん



白ハッピーの仕掛人「祭典係」のみなさん

勇壮な音色を響かせ御柱を送る「富士見太鼓」のみなさん

令和4年御柱祭
東三地区氏子会（本郷・落合・境）
<http://r4h3.www2.jp>



東三地区氏子会のウェブサイト にアップされている動画や写真

- ・【速報】里曳き写真館（第1弾・写真と動画）
- ・【速報】里曳き写真館（第2弾・鳥居くぐり 動画）
- ・【速報】里曳き写真館（第3弾・出発の朝 動画）
- ・【速報】里曳き写真館（第4弾・速報写真）
- ・【速報】里曳き写真館（第5弾・川越し 動画）
- ・【速報】里曳き写真館（第6弾・富士見太鼓 動画）
- ・【速報】建て御柱写真館（第1弾・写真と動画）
- ・【速報】建て御柱写真館（第2弾・垂れ幕 動画）
- ・【速報】建て御柱写真館（第3弾・速報写真）
- ・【速報】里曳き・建て御柱 集合写真

※広報記録係よりお願い

広報記録係では、今回の御柱祭関係で延べ5万枚を超える写真と50時間を超える動画を撮影しました。この整理には相当の時間が必要となります。整理しながら、随時アップしていきますのでご了承ください。

You Tube「御柱祭 東三地区氏子会」
動画46本配信中（5/27 現在）
【里曳き】御柱祭・前宮四
（2022 本郷・落合・境） →



令和四壬寅歳御柱大祭 前宮四之御柱

「記録写真集」編集中

広報記録係では、記録写真集を編集しています。概要は2冊1組（1冊128ページ）で、7月上旬の発刊を目指しています。

前編は御用材の仮見立て氏子見学会から本祭に向けての準備、山出し、里曳き準備までを、後編は里曳き、建御柱、係ごとや地区別の集合写真で編集作業を進めています。

頒布価格や注文の取りまとめ方法等については関係者等と調整していますので、次号のおんばしら通信でお知らせします。

なお、今回ご寄付を頂いた方には御礼記念品として配布させていただきます。

写真等留意

東三地区氏子会のウェブサイトやおんばしら通信に掲載している集合写真等にマスクをしていないものがありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に十分な配慮をしながら、撮影時のみ一時的にマスクを外しています。